

2020年東京オリンピック競技大会対策

中学生・高校生特別出場枠について

平成29年2月15日
(公財)日本水泳連盟 競泳委員会

2020年東京オリンピック競技大会の開催決定を受け、競泳委員会として競技会強化策として以下の提案が承認されましたので、お知らせ致します。

提案名称：2020年対策 中学生・高校生特別出場枠

提案内容：(公財)日本水泳連盟ナショナル選手標準記録突破者は、その突破記録種目に限り次年度の日本選手権水泳競技大会、及びジャパンオープン(50m)に出場することができる。また、同種目に限り1種目エントリーを追加できる。
(例：100m平泳ぎでナショナル記録突破⇒100m平泳ぎ・200m平泳ぎにエントリー可能)

提案理由：選考会である、日本選手権及びジャパンオープンを若い選手に経験させることにより、若手選手のオリンピックに対する意識の向上及び、日本トップレベルの選手と競い合うことにより競技力の向上を目指す。

実施期間：平成27(2015)年度日本選手権～平成31(2019)年度ジャパンオープンまで

【付帯事項】

平成29(2017)年度日本選手権特別出場枠対象者は2016年度ナショナル標準記録突破者とする

①ナショナル標準記録1種目突破者

⇒ナショナル標準記録突破種目及び同種目に限り1種目を追加してエントリー可

②ナショナル標準記録2種目突破者

⇒ナショナル標準記録突破2種目のエントリー可、または異なる種目の標準記録を突破している場合は、一方の同一種目を追加してエントリー可

③ナショナル標準記録3種目以上突破者

⇒ナショナル標準記録突破種目から2種目を選択してエントリー可

④1種目、日本選手権参加標準記録を突破している者

⇒日本選手権参加標準記録突破種目及び、特別措置として1種目追加してエントリー可

*①～④は出場種目合計を2種目までとする。

⑤2種目以上、日本選手権参加標準記録を突破している者

⇒特別措置適応外とする

⑥該当大会開催時に中・高校生に対して与えられる特別枠であるため、大学1年生に相当する者

⇒特別措置適応外とする

[追加エントリーについて]

⇒日本選手権申込み後のJOCジュニアオリンピックにて日本選手権参加標準記録を突破した種目は追加して、エントリー可

付帯事項記載：平成27年3月6日
平成29年2月15日